

## 委員会要旨

日 時	令和5年11月30日(木) 午後3時から午後5時10分
場 所	軽井沢町中央公民館 講義室
件 名	第1回軽井沢町庁舎改築周辺整備事業推進委員会
出席者 委 員	池田靖史委員、市村強志委員、西垣忍委員、小林久史委員、大町哲也委員、千葉篤史委員、小林美智子委員、荒井美和委員、外川善行委員、大工原亮子委員、小林里恵委員、篠原幸雄委員、島田茂夫委員、佐藤一郎委員、本城慎之介委員、島崎直也委員、福原未来委員、柴崎雅寿委員、野村有里委員、船曳鴻紅委員、堀池玲子委員、堀内勉委員、山崎元委員、上田公三委員
オブザーバー	マスターアーキテクト團紀彦氏 山下設計・三浦慎建築設計室設計共同体(3名) 町:土屋町長、小池副町長 事務局:中山総合政策課長、土赤まちづくり推進室長、佐藤
1. 開 会	
2. 町長あいさつ(土屋町長)	これまでこの事業において“情報の発信”という点で正確な情報が住民の皆様が届いてないということが大きな反省点であり、“庁舎建設110億”という言葉が独り歩きをしてしまったという印象もある。このような点については、きちんと改善し、委員の皆様からの意見や疑問などを吸い上げ、この委員会で議論された内容を町からしっかりと情報発信をしていきたいと考えている。皆様には住民と町との合意形成を図る大きな役割もお願いしたい。
3. 出席者の紹介	⇒事務局より紹介
4. 委員長互選	⇒学識経験者であり、本事業に精通している池田委員を選出
5. 委員長あいさつ	みなさんのご支援とご協力いただきながら委員長の任を務めたい。
6. 委員長職務代理者の選出	⇒公民館施設の検討もあるため、教育長職務代理者の佐藤一郎委員を委員長が指名
7. 議 題	
(1) 庁舎改築周辺整備事業のこれまでの経緯について【資料1及び資料2】	これまでの経過を時系列を追って全体的に説明 【主な議論・質疑】 ・見直しについてはどの程度、何を見直すのか。 ⇒見直し方針に基づき、事業を見直していく。

(2) 庁舎改築周辺整備事業推進委員会の位置づけについて【資料3及び資料4】

委員会の役割やスケジュール感について説明

(3) 今後の検討内容等について

ア 設計事業者との契約に関する今後の対応予定について【資料5及び資料6】

見直しを行うに当たり、設計事業者の見直しも行うべきではないか。という声を踏まえ、町が住民との合意形成のため、一旦立ち止まり、本委員会で議論の場を設定し、住民の意見を聴くこととしたことを説明。また、議論を行うに当たり、プロポーザルとは何か、コスト面の推移等について説明を行った。

また、團紀彦氏より当時のプロポーザルの審査委員長としての立場からのプロポーザルについて、プロポーザルをやり直すほどの条件の変更ではないといった意見や、マスターアーキテクトとして設計事業者からの説明機会を設けるべきとの意見をいただいた。

【主な議論・質疑】

・山下・三浦JVの現在の立ち位置について

⇒現在のJVとは基本設計の策定までで契約が終了しており、現在は見直しに向けて助言をもらっている立場である。

- ・基本設計・実施設計業務といった専門用語を説明してもらわないと議論が進まないのではないか。
- ・近隣市町村との比較が知りたい。
- ・ライフサイクルコストを算出のうえ、建築費と比較考量をしたい。
- ・総事業費はいくらになるか知りたい。
- ・防災対策が知りたい。
- ・コストの問題が設計事業者の変更へすり替わっていないか。
- ・遊休施設を調べたうえで、分散化の検討をしたい。
- ・町の中長期的ビジョンを踏まえた設計になっているのか知りたい。
- ・重要な住民とのコミュニケーションを図るための人材が町や設計事業者にいるのか知りたい。

⇒これらの意見はとりまとめの上、次回以降に取扱うこととした。

イ 庁舎建設計画見直し部会及び公民館機能拡充施設検討部会の構成について

- ・概要を説明し、次回以降に委員構成を決定する。

ウ 庁舎改築周辺整備事業に関する各委員からの意見について

- ・設計事業者の見直しということについて驚いている。(山下・三浦JVと見直しを直ぐに行っていくと思っていた。)
- ・職員の利便性も検討してもらいたい。
- ・町職員としての意見も今後発言させていただく。

(4) その他

- ・事務局より「議事録の確認」、「2回目の委員会の動画撮影・配信」「メールでの会議資料等送付について説明し、了解を得た。
- ・次回は12月12日(火)18時から中央公民館講義室で開催

8. 閉 会

以 上